



射水市名誉市民

ながた よしお

永田 良雄

Nagata Yoshio

生年月日～没年月日

昭和6年5月5日 生

～ 平成10年8月22日 没

決定年月日

平成10年8月22日議決

主な経歴

国土事務次官

参議院議員

## 功績

永田良雄は、射水郡新湊町(現射水市)に生まれた官僚・政治家です。

旧制射水中学から旧制富山高校を経て、昭和29年東京大学法学部を卒業後、建設省に入省。熊本・茨城県庁などでの勤務を経た後、昭和57年には建設省計画局長に就任。以降、国土庁土地局長、国土庁長官官房長、国土事務次官などの要職を歴任、昭和61年6月の退官まで32年の長きにわたり我が国の国土行政に大きな足跡を残しました。

昭和61年6月には、沖外夫参議院議員の引退により、その後継者として自民党富山県連から立候補要請を受け、投票日まで1か月もない中で参議院選挙への立候補を決断、広く県民の支持を得て初陣を飾りました。その後、平成4年に再選、平成10年に3選を果たし、この間、参議院農林水産委員長、建設委員長、議員運営委員会理事、予算委員会理事などを歴任しました。また、自民党内では、国土開発調査会・21世紀国土政策検討プロジェクトチーム主査として、新しい全国総合開発計画の策定に手腕を発揮しました。

郷土に対しては、特定重要港湾伏木富山港(富山新港)の拡充や国道472号の昇格・整備をはじめ、新湊大橋の建設、内川流域浄化対策事業、中新湊商店街の整備など大型プロジェクトの前進に大きく貢献しました。

平成10年7月の小渕内閣発足後は参議院自民党の国会対策委員長に就任し、参議院で自民党が過半数を割っている状況の中、昼夜を問わず与野党折衝に当たっていましたが、8月22日、脳梗塞により急逝しました。

市内で行われた告別式には、小渕首相(当時)も参列、「官僚出身でありながら官僚政治打破に全力を傾けた人間味あふれる政治家」と早すぎる死を悼みました。

「格好をつけるのが嫌い。うまいことを言うのではなく、大事なのは人の信頼を裏切らないこと」。誠実で人間味あふれる政治家、永田良雄がよく口にした言葉です。